

図書館員のひみつの本棚 第224回

今月は、方言が楽しい昔話絵本を紹介します。

『なんげえはなしっこしかへがな』

北 彰介／文, 太田 大八／絵 BL出版 2018年 ¥1600(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★☆☆ 小低学年★★★★ 小中学年★★★★ 小高学年★★★★ 中学生★★☆

高校★★☆ 一般★★★★

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

「なんげえはなしっこしかへがな(=長い話をしてやろうかな)」で始まる、津軽で語られてきた昔話の絵本です。ほら話のようでもある楽しい昔話が7話入っています。

この昔話、もともとは、延々と同じことを繰り返して子どもを飽きさせるのがねらいだったとか。あとがきを読むと、むかしの情景が浮かんで来て、より一層ほのぼのとした気持ちでお話に向き合えます。

<子どもに手渡す時のポイント>

文字で読むには少し難しく感じられるかもしれないので、ぜひ読んで聞かせてあげてください。なじみのない方言でも、耳で聞くと、不思議と意味はすっと入ってきます。あとがきにもあるように津軽弁のまねをする必要はないと思いますが、読み慣れるのに少し練習は必要かもしれません。独特のリズム感や繰り返しを楽しみながら挑戦してみてください。

1つ1つの話はとても短く、くり、へび、せみ、鬼など季節やテーマに合わせてちょっと読んであげるのにも適していると思います。



このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみて下さい。

